

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマンフィルタ株式会社(仮称)横須賀イノベーションセンター建設工事	階数	地上2F
建設地	横須賀市光の丘2568番68	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年10月16日
敷地面積	35,195 m ²	作成者	(株)大洋建設一級建築士事務所
建築面積	2,728 m ²	確認日	2020年10月16日
延床面積	4,841 m ²	確認者	(株)大洋建設一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
JR横須賀駅からバスで40分の準工業地域に、事務所単一用途の計画をした。	特になし	
Q1 室内環境 建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 天井高さを十分に配慮し、広さ感に配慮している。ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BPIm=0.78	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が分別容易な構造や再利用可能なユニット部材を採用している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率86%。オール電化により大気汚染物質を全く発生しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される